

# 『 発達障害に関する支援者講座 9月30日 』

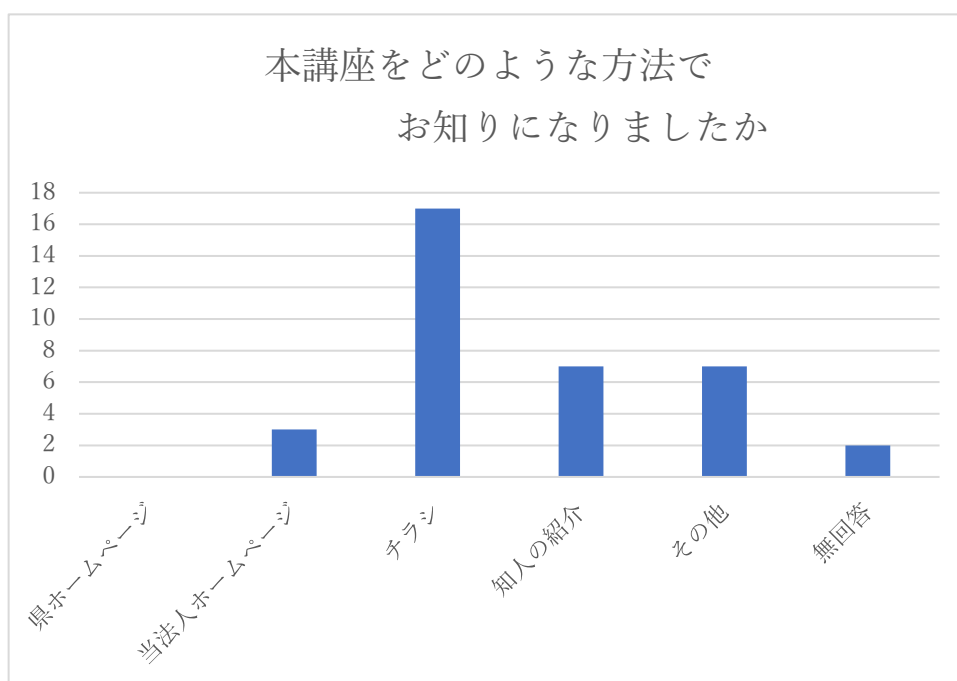
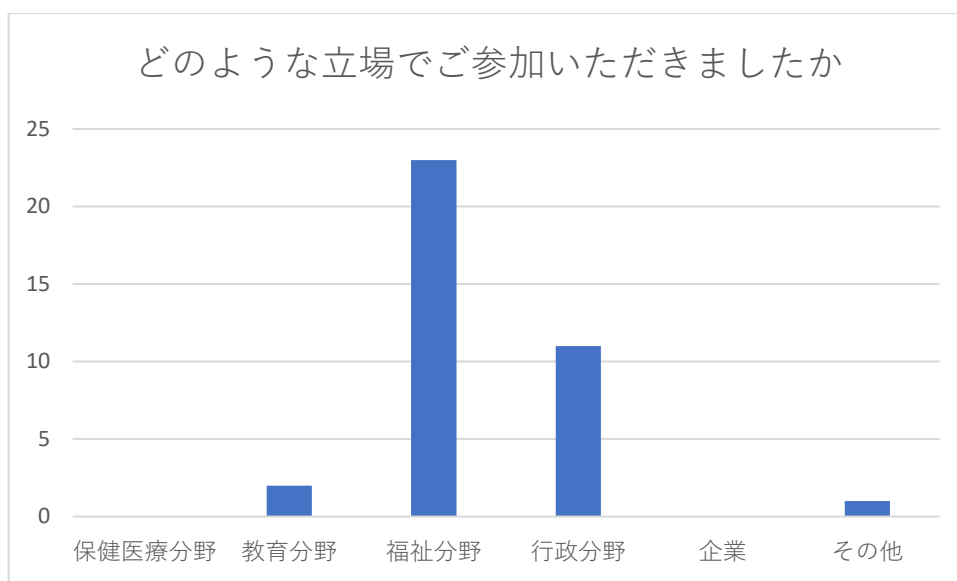
## 第1回 講演『 支援者講座① 就労支援 』

講師：東近江圏域働き暮らし応援センター “Tekito-”

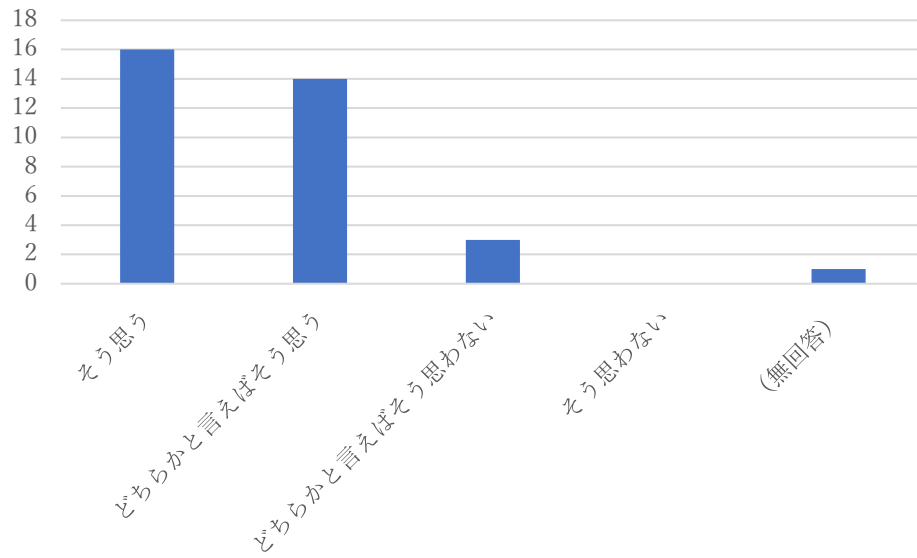
竜王町役場 発達支援課ふれあい相談発達支援センター

参加者：41名

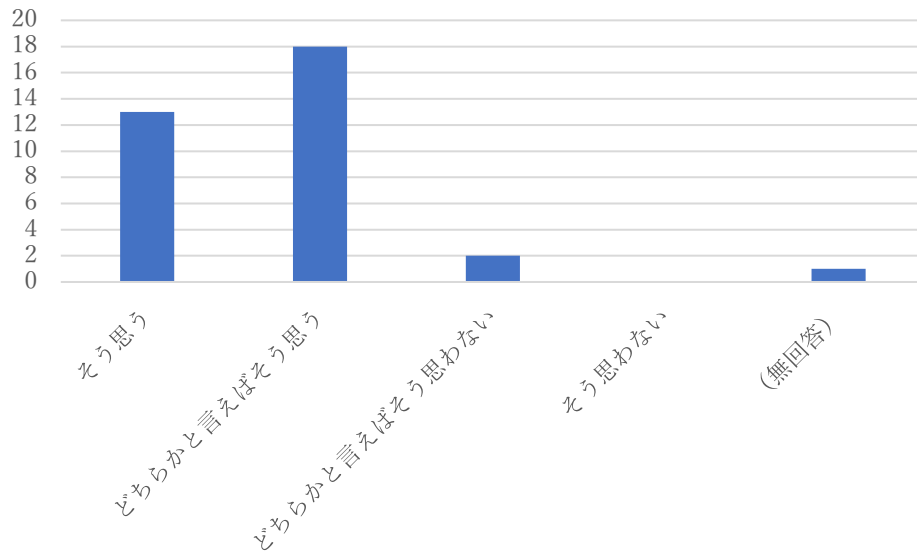
アンケート回収率：83%



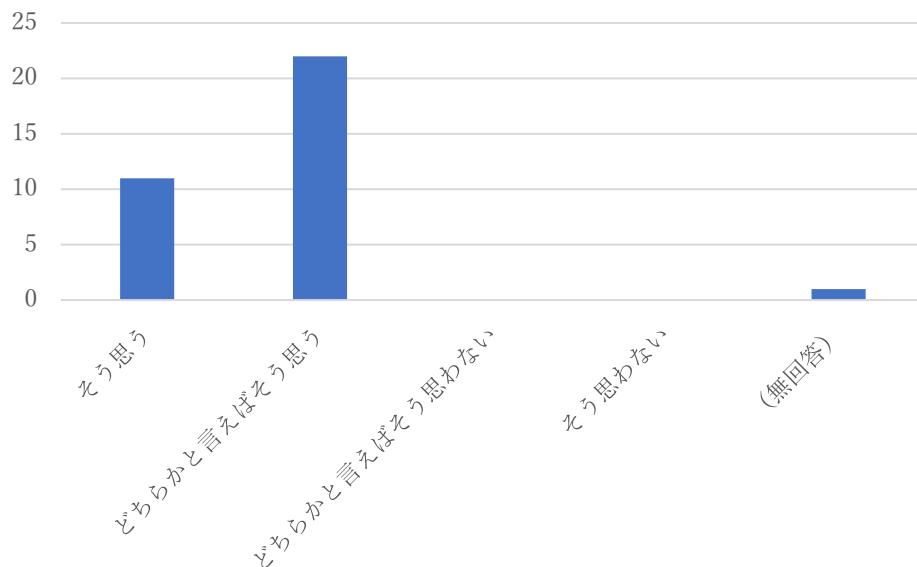
### 講演内容に対する理解が深まった



### 家族・友人・同僚に伝えたいと思った



### 日常生活（業務）に取り入れたいと思った



## ◎その他ご感想など

\*アンケートの中から抜粋し、個人が特定されないような形で要約させていただきました。

- ・複雑な社会の中で、多くの課題や困り感を抱える人を支援するにあたり、複数の機関が役割分担を明確にした上で連携していくことの大切さと難しさを改めて感じる事ができました。
- ・目の前の支援で、手いっぱいになりがちですが、就職のその先まで考えながら業務に臨みたいと思います。
- ・働き・くらし応援センター、発達センター等が地域としてケースを支えておられ、自分の住む地域にもこのような会議、連携ができるようになればと思います。私自身が知らないだけのこともあるかもしれないので、色々な機関に相談してみようと思いました。
- ・事例を通して、その時々支援者の思いや悩み、関わり方などを加えてお話いただき、わかりやすかったです。聞く側として想像がしやすく、事務所に持ち帰りやすいと感じました。
- ・改めて関係機関の連携の大切さを感じました。つなげるだけでなく、任せっきりにするのではなく……というのは、心強いと思いました。一緒に考えてもらい、意見やアドバイスをもらえる会議。しかも定期的にあるというのは利用者にとってもですが、支援者にとってもありがたいことだと思います。継続できるように会議の持ち方を聞かせて頂きよかったです。
- ・竜王会議をされている事で、役割分担のおしつけなどといった感じにならず、“地域のケース”として参加者で情報共有することで違った視点から支援の方向性がみえるのだと思いました。ぜひ、当市でもこういった取り組みができればと思いました。
- ・事例をふまえながら、他機関との連携の話を聞くことができたため、難しくなく、理解しやすい講座でした。竜王会議は、他機関の意見をきき、一緒に検討しながら進めていける会議があることは良いことなので当センターにもちかえり、報告したいと思います。ありがとうございました。
- ・同じようなモチベーションが低い人をどのように就労できるのかという悩みに共感した。取り組みは連携していかないと、長期間利用者さんと支えていくことができない。ますます必要になる取り組みをされているなと思った。
- ・自立支援ルームから就労ボランティア、中間就労と、小さな段階から進めることで本人にも無理なく進めるのかなと思った。手帳や医師の意見書のない人が就職の準備期間として中間就労があることを初めて知れた。そういった方が多いことが、今後の課題にあると感じた。
- ・就労支援に関して、ケースを外部機関につなぐ時に、いきなりつなぐのではなく、クッション的な機関（会議等）を通す事により、支援の質を上げる竜王町の取り組みはとても参考となりました。各機関が持っているケースをその地域のケースとして、各機関が意見を出し合うことは、とても良いと思いました。